



フードドライブにご協力をお願いします

～誰もが食をわかちあえる社会のために～

フードドライブとは家庭や職場で余った食料品を持ち寄り「食」に困っている個人や施設を支援するための活動です。

コープおおいたではフードドライブ(食品の回収)の取り組みを行なっています。

ご寄付いただいた食品は「フードバンクおおいた」を通じて責任を持って生活困窮者や子ども食堂などに無償でお届けします。

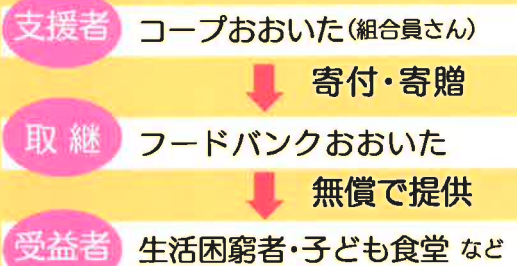


ご寄付を頂きたい食品

- 穀類(お米、麺類、小麦粉など)
- 保存食品(缶詰・瓶詰など)
- 乾物(海苔・豆など)
- 調味料各種、食用油
- インスタント食品、レトルト食品
- 飲料(ジュース・コーヒー・お茶など)
- お中元などの頂き物の品物 など



= 支援の流れ =



注意して頂きたい点

- ①賞味期限が明記されており期限終了まで1ヶ月以上あるもの
 - ②常温で保存が可能なもの
 - ③未開封であるもの
 - ④破損などで中身が出ていないもの
 - ⑤お米は常識の範囲内で古くないもの
- ※コープ商品でなくても構いません。

子ども食堂へ提供します

「子ども食堂」へ提供するものを集めます。みなさんのご協力よろしくお願いします。

- ご提供して頂きたい商品
- 調理用手袋
 - 食品用ラップ
 - 使い捨てふきん
 - ペーパータオル
 - マスク
 - クッキングペーパー
- 未使用 未開封

フードバンクおおいたとは…
2016年6月に大分県社会福祉協議会は生活困窮者や子ども食堂へ無料で食糧を提供することを目的とした事業「フードバンクおおいた」を設立しました。(大分県の食品を取り扱う企業、大分県労働者福祉協議会やNPOボランティア団体と共にコープおおいたも参加しています。)

日本の食料自給率は、4割を下回る状況の中、安全に食べられるにもかかわらず廃棄されている食べ物が、年間500万トン～800万トン以上ともいわれています。一方、貧困線以下の生活を強いられている方が数十万人いるともいわれています。品質には何ら問題のないものが、やむなく廃棄されてしまう食品の提供を無償で受け、支援を必要とする方に提

供することで、食べられる食品を有効に活用する活動です。

子ども食堂とは…

子ども食堂とは、経済的・家庭的事情などにより、十分な食事を食べられない子どもや、孤食の子どもに対して食事を無償、または低価格で提供し、安らげる場所のことです。

回収の方法

回収の際には

『フードドライブの商品です』と一言、伝えてください。

=店舗= いつでもお預かりします

店舗サービスカウンターにて受け取ります。お買物の前にサービスカウンターへお持ち寄りください。

組合員さんからお寄せいただいたフードドライブの商品はコープおおいた青崎本部に集められます。

社会福祉協議会へ商品を譲渡し、品質や種類・賞味期限などをチェックします。その後保管・管理され子ども食堂や施設へ提供されています。

